

春の教育実践講座

日時：2023年4月29日（祝・土）15：00～18：30

会場：青森県教育会館（青森市橋本1丁目2-25）



おおきな かぶ

全体講演：15：00～16：30

「教育とは何かを問い続けて」

渡邊 富美子（七戸養護学校）

★ Zoom ミーティング ID:881 7892 5741 / パスコード:205970 ★

※15分前には入室可能です。
また、入室の際には、「学校名」「氏名」を
表示してください。

プロフィール

弘前学院大学文学部英米文学科卒業。
平成7年より三八地方で中学校の臨時講師として勤務。
平成13年七戸養護学校で新採用。八戸第二養護学校、
八戸第一養護学校を経て、現在、七戸養護学校で勤務。

参加費：無料

保育所、有ります
※絵本や飲み物などは
ご持参ください。



当日は、子ども達と使いたいいくつかの教材も紹介します。一人ひとりの子に寄り添うとは何かを共に考えていきたいと思ひます。
ぜひ、おいでください。

こんにちは、渡邊です。
四月、どんな子も「気分を新たに、学習に対する期待感を胸に登校してきます。」
ある年、A-LTのエイドリアン先生との交流学習の計画を立てた。ハロウィンを通して、異文化の理解を深めたいと思った。知的障害の四人の子等が楽しめる交流学習をどうしたらできるだろうと考えた。
B子は以前、サンタクロースの着ぐるみを着た先生を「怖い」と言っていて泣き出したことがあった。C男は、籠をもってお菓子を落とさず回れるだろうか。D男はこういう行事が得意だから積極的にやってくれるだろう。
一番の心配はA子であった。無関心で視線が合いにくい。関心興味が極端に狭い。そもそも、ハロウィンなどA子の世界にはないと思われた。でも、私はA子の笑顔を見たいと思った。
まず、私、渡邊が楽しむと決めた。回る教室を決めた。教室を回る前の練習のために、扉を引っ張って開けるとお化けや魔法の絵が出てくる教材を作り、ノックしたり話す言葉を練習したりした。その他にA子の好きなモンスターサイズのキャラクターも用意。
四人だけのクラスだが、一人一人の笑顔無くして学級の活気は生まれない。それは、普通学級も支援学級も同じである。支援学級は普通学級より、はるかに少人数であるが、その障害の多様性に即して教材や教具を考え、手作りで作成することも多い。これぞと思う教具を提示しても、全く空振りということもある。普通学級と違う困難性である。しかし、「一人一人の子が学校生活を楽しみ、そして、成長して欲しい」このことは、国民、保護者、教職員、みんなの思いだ。

分科会 16：45～18：30 ※「学校事務」分科会のみ 13：00～15：00

分科会	小学校	中学校	高等学校	特別支援校	保健室	学校事務
話題提供	木村洋子 (板柳南小) 「2年生の 国語通信」	一戸義規 (生活指導研究会) 「子どもと教師の 関係づくり」	田村儀則 (八戸水産高) 「キレイ 鮫・海 大作戦 SDGs」	浅利志乃 (八戸一養) 「児童・生徒の 自己目標の設定と 評価の手立てについて」	齋藤祐子 (弘前・北小) 「健康教育について」	小林尚治 (県教組) 「事務室からの情報 発信について」
担当	三浦由起子 (戸山西小)	土岐隆史 (五所川原三中)	三宅 愛 (野辺地高)	高村一也 (八戸一養)	井上佳林 (八戸・楯野小)	佐井 誠 (島守中)

主催 青森県教職員組合、青森県高等学校・障害児学校教職員組合
後援 青森県教育委員会

連絡先：青森県教職員組合…TEL：017-734-7279, Fax：017-777-1440, E-mail：aomoritu@iaa.itkeeper.ne.jp
青森県高等学校・障害児学校教職員組合：TEL：017-734-7287, Fax：017-775-4221,

E-mail：aokokyos@olive.ocn.ne.jp